



# 白河二中だより

NO. 46

2025. 3. 21  
白河市立白河第二中学校  
発行責任者 小野 聡

## 健やかな成長と白河二中の新たな歴史を

13日(木)、第78回卒業証書授与式を挙りました。

感謝を表す「卒業生一人一人の返事や式歌の全校生の声と姿」が、今もしっかりと脳裏に焼き付いています。たいへん思い出深い式となりました。式に参加いただいた来賓の皆さんからも「素晴らしい式でした。」「みんなで歌い上げた式歌に涙が出ました。」などの感想をいただいたところです。

立派な姿で巣立った3年生には、決して平坦な道ばかりではないでしょうが、それぞれが自分で選んだ道を一步一步着実に進み、夢や希望の実現を果たしてほしいと思います。

在校生は、卒業生への感謝の気持ちを、心のこもった歌で伝えることができました。2年生には最上級生として、1年生には中堅学年として、伝統を引き継ぎ、新たな歴史を築いてほしいと思います。

保護者の皆様、今年度の本校の教育活動へのご理解、ご協力、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。1・2年生の健やかな成長を願っております。

卒業証書授与式において送ったメッセージの一部です。お読みください。

現代の社会の変化に対応するためには、学び続けること、そして、これまでも、皆さんがこだわってきた「言葉」を大切にしていける必要があります。

言葉の力は、情報を集め、分析し、それをもとに論理的に考え抜く力となり、また、身の回りの物事や人の心を細やかに感じ取り、想像を豊かに広げる力にもつながります。

皆さんは、2年生の国語科の授業で大岡信さんの「言葉の力」を学びました。大岡さんは、「人間全体がささやかな言葉の一つ一つに反映する」と言っています。同じ言葉を発しても、発している人の心の中や考えていること、普段の行為やこれまでの生き方によって、その美しさは変わります。皆さんには、是非、「正しく、美しい」生活を送り、「正しい言葉」、「美しい言葉」を発することのできる人になってほしいと思います。

もう一つ、忘れないでほしいことがあります。3年前、皆さんの入学式で、次のような話をしました。

「世界に目を向けると、ウクライナの情勢が気になります。新聞やテレビによる報道を見るたびに、心が痛く、胸が締め付けられます。多くの方が、今までの自分の生活を失い、中には命を落としている人がいるという現実が、今、この時も続いているのです。苦しんでいる人たちへ思いを馳せることのできる心優しい、思いやりのある人であってほしいと思います。」

ウクライナとロシアの戦争は皆さんが小学校6年生から続いています。戦争だけでなく、広く世界を見渡すと、深刻な環境問題・差別・貧困・人権問題などで苦しんでいる人がいます。そのことを心にとめ、自分自身の命を大切にすることはもちろん、校歌の最後に「諸人の幸祈りては」とあるように、白河市、福島県、日本、そして、世界へと目を向け、思いを巡らせたり、具体的に手を差し伸べたりするなど、人のために尽くすことのできる皆さんであってほしいと願います。

## 栄光をたたえて

【第8回田村カップ中学生バレーボール交流大会「第2位」】

○小林 風仁 佐藤 奏介 林 真斗 溝口 来希 南館 光志 大森 幸樹  
佐々木康悝 大山 都人 佐藤 輝平 田村 俊涼 永山 晶翔